



「小江戸川越防犯のまちづくり情報」
メール配信サービス実施中
kawagoe.bouhan@mpme.jp
*登録を希望する方は、空メールを送信してください。

小江戸川越防犯けいはつ隊(協力事業所による活動)

犯罪による被害を未然に防ぐには、地域全体による防犯に対する取り組みと、ひとりひとりが防犯意識を持つことが大切です。

市で委託している在宅高齢者配食サービス業務の業者は、当該業務と合わせて、「防犯パトロール」と表示した腕章を自主的に着用しています。そして、使用車両に「防犯パトロール実施中」というステッカーをはって、地域の防犯に協力しています。

また、ひつたりや空き巣などの身近な犯罪、振り込め詐欺や詐欺まがいの悪徳商法などの被害を未然に防ぐため、配食の際に、市および川越警察署からの要請に基づいて、防犯啓発用チラシなどを配布し、被害にあわないように注意を促しています。

このように、市では川越警察署と連携して、事業所の皆さんが地域の一員として、防犯のまちづくりに協力できるようなくみづくりに努めています。

問い合わせ：安全安心生活課

TEL 224-5721

人権教育シリーズ

児童・生徒の人権作文⑦

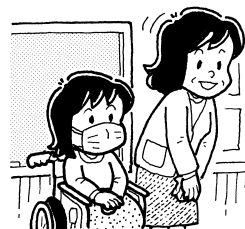
生涯学習課・TEL 224-6086

このシリーズでは、昨年一月二十六日にメルトで開催された、平成十八年度川越市人権教育実践報告会で発表した、小中学生の人権作文を紹介します。

認め合える社会へ①

霞ヶ関西中学校二年

「思いやりってなんですか。」そう聞かれたら答えることができるでしょうか。「思いやりっていいことをしないことですか。」「差別しないことですか。」「人にやさしく接することですか。」「では、「やさしくってどういうことですか。」「差別しないってどういうことですか。」「私は答えることができないように思います。」



私は小二のとき、A県に住んでいました。私の通っていた学校はモデル校で、バリアフリーやオーブン教室で、障害のある子でも生活しやすいように作られた新しい学校でした。一学期の途中から、両足がなく体の弱いAさんが、退院して学校に来ることになりました。Aさんは五才のときに、重い病気にかかり

足をなくしたそうです。違う学区の子でしたが、少しでも生活しやすい学校でという配慮から、バリアフリーの私たちの学校へ通うことになったそうです。Aさんが来る前に先生からAさんの話を聞きました。車イスに乗っていること。今まで無菌の病院にいて抵抗力がないため、いつもマスクをしていること。いつもお母さんと一緒に登校すること。困っていたら手助けしてほしいこと。そんな話を聞いて、私たちはクラスみんなで手紙やプレゼントを用意しました。早く学校生活になれるように……という思いを込めて。初めてお母さんと一緒に登校して来た日、私たちが手紙やプレゼントを渡すと、Aさんは泣いて喜んでいました。Aさんのお母さんも泣いていました。私はAさんとお母さんが、とても喜んでくれたことが嬉しかったのと同時にすごく驚きました。(つづく)

*ふりがなは広報室で付けました。

親子で選挙を考えよう⑩ 選挙管理委員会事務局・TEL 224-6120

●投票所以外での投票(不在者投票)

投票日に投票所に行くことができない方のために、さまざまな手段を設けています。

- ①滞在地などでの投票…出張・滞在先の市区町村の選挙管理委員会や、入院・入所している病院・老人ホームなどで投票する制度
- ②在宅での郵便などによる投票…身体に重い障害がある方が郵送などで投票する制度
- ③在外での投票…海外に住む方が、投票する制度(国政選挙のみ)

ほかに、指定船舶の乗組員・海外派遣の自衛隊員などが投票する制度もあります。なお、

②③は事前に選挙管理委員会へ証明書などの交付申請が必要となります。



埼玉県選挙啓発ポスターコンクール入選作品・大東西中学校1年・原口夢叶

みんなの作文

6年間を振り返って

泉小学校六年

内田 有紀

私は1年生から6年生までを振り返って、出来る事が増えたな~と思いました。

今の私から1年生を見ると「どうしてできないのかな。」と思うことがあります。1年生の時、ろう下で並ぶ時もフラフラしておこられるまでおしゃべりをしていたけれど、6年生になると少ししゃべってしまふけれど気づいたらちゃんと静かにできるようになりました。

なかよし活動の時、班長になつてみんなをまとめようとすると思った以上に大変でした。きちんと並べなかつたり、ずつと手わるさしてたりしている1年生や2年生を見て（前は自分もそうだったのかな？）

と思いました。けれど、4年生や5年生を見ると、注意したらきちんとおしゃべりをやめて並んでいました。私は、こういう事が成長なのかもしれ

れないと思いました。

また、6年生になつてから人の気持ちをよく考えて行動する事がよくできるようになりました。高学年になると「かげ口」や「からかい」が多くなつたりして問題も起き

たけれど、人の気持ちをよく考えると「これをやったら相手が傷つくな」など、よく分かるようになりました。



これから先、中学生や高校生になつて今を振り返るとまだまだだと思うけれど、今は今で中学校に向けてできる事を増やしていきたいと思います。それから6年生でいられる時間間もあともう少しなので今を大切にしていきたいです。

*ふりがなは広報室で付けました。

短歌

四元仰・選

生活の常となりたる通院のほとりいずこも菊の花咲く
山車の中気合込めたる声のして人形徐々に上り立つ見ゆ
夜の路地に木屋の花散り敷いてぼつと明るみほのかに香る
山伏に背を押され行く火渡りの足裏熱く駆け足となる
この思いあえて名前をつけるならただむなしといつておこうか

俳句

石川俊一・選

冬ざくら晩学の日のゆるみくる
図書館のうしろもまえも落葉して
木守りの柿に鳥くる日和かな
漣の面に紅葉写して舟流る
黙礼し地蔵も参る初もうで

川柳

小川正夫・選

初詣孫も小さな手を合わせ
オブラート本音包んで和を保ち
長々と神も呆れる願いごと
時の鐘初春を寿ぐいい音色
ダルマ市寒さ感じぬ客あふれ

おしゃべり倶楽部 226 植物あらかると

トケイソウの実



黄色く熟した実

平成18年1月から始まった、川越小学校校舎西側の壁面緑化。7種類の植物が壁一面に育ちました。その中の1つ、トケイソウに実がなっていました。

南アメリカ原産のこの植物、花びらが時計の文字盤、雄しべ・雌しべが針に似ていることからトケイソウと呼ばれています。花は5月~9月に咲き、咲き終わる秋ごろから黄色い卵形の5~7cmの実が付き始めます。残念ながらこの実は食べることができませんが、同じトケイソウ科の「クダモノトケイソウ」の実は、果物のパッションフルーツとして知られています。

「短歌・俳句・川柳」終了のお知らせ

「短歌・俳句・川柳」は3月10日発行の広報川越で終了します。

長年にわたるご投稿・ご愛読、ありがとうございました。

広報室・TEL224-5495

井上文子(岸町二丁目)
小澤繁雄(石原町二丁目)
鈴木孟(南大塚)
山田厚子(仙波町二丁目)
山本泰寛(藤原町)